

南アメリカ・オセアニア 州

名前

問1 南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに見られる「高山都市」の生活や気候の特徴について述べた文として、正しいものを一つ選びなさい。
(2023年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 緯度が高いため、冬にはマイナス20度を下回る厳しい寒さになる。 | 2. 季節風の影響を強く受けるため、夏と冬で気温の差が非常に大きい。 | 3. 赤道直下のため標高に関係なく酷暑となり、冷房設備が不可欠である。 | 4. 低緯度の熱帯地域であっても、高い標高の影響で一年中涼しい気候となっている。 |
|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|--|

問2 世界の主要国を比較した資料において、国土面積が約852万km²であり、鉄鉱石の生産量が世界全体の34.7%という高いシェアを占めていると説明される国として、正しいものはどれですか。
(2019年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|------------|--------|
| 1. ロシア | 2. ブラジル | 3. オーストラリア | 4. インド |
|--------|---------|------------|--------|

問3 オーストラリアでは、1970年代までヨーロッパ系以外の移民を制限する白人優先の政策が採られていましたが、現在はその政策を廃止しています。かつて行われていた白人優先の政策の名称と、現在のように多様な民族の文化を尊重し、共生を目指す社会のあり方を示す言葉の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
(2023年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------|----------------|---------------|--------------|
| 1. 人種隔離政策と多文化社会 | 2. 人種隔離政策と地域主義 | 3. 白豪主義と多文化社会 | 4. 白豪主義と地域主義 |
|-----------------|----------------|---------------|--------------|

問4 南アメリカ大陸南部の、ある国に関する統計において、人口が約4112万人であるのに対し、牛の飼育頭数が約4750万頭と人口を上回っています。この国に広がる「パンパ」と呼ばれる広大な草原を利用して、古くから盛んに行われている産業はどれですか。
(2016年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------|----------------|-----------|------------------|
| 1. 地中海式農業による果樹栽培 | 2. 焼畑によるいも類の栽培 | 3. 牛や羊の牧畜 | 4. コーヒーのプランテーション |
|------------------|----------------|-----------|------------------|

問5 ブラジルの農業において、近年、世界市場での存在感が高まっている大豆の生産背景を説明したものとして、正しいものはどれですか。
(2023年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 小規模な農家が協力し合い、すべて手作業で高品質な作物を生産しているため | 2. 広大な土地に大型の農業機械を導入することで、大規模な生産体制を確立したため | 3. 伝統的な焼畑農業を大規模に継続し、自然のサイクルのみで生産量を増やしたため | 4. 都市近郊の限られた土地に化学肥料を大量に投入し、集約的な農業を行ったため |
|--|--|--|---|

問6 ブラジルで普及しているバイオエタノールなどのバイオ燃料は、再生可能エネルギーの一つとして注目されています。この燃料を利用することが地球温暖化の抑制に貢献すると考えられているのはなぜですか。その仕組みについて説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。
(2025年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 従来の化石燃料に比べて燃焼効率が非常に高く、同じエネルギー量を得るために必要な燃料の総量を大幅に削減できるから。 | 2. アルミニウムの原料であるボーキサイトの精錬過程で発生する副産物を利用しており、廃棄物の削減に直接つながるから。 | 3. 原料となる植物が成長する際に光合成で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に排出される量と実質的に相殺されるから。 | 4. 水力発電と同様に、製造から燃焼に至るまでの全工程において温室効果ガスを一切排出しない仕組みが確立されているから。 |
|---|--|---|---|

問7 世界のエネルギー消費と発電構成に関する説明のうち、ブラジルの発電状況を正しく説明しているものはどれですか。
(2023年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 広大な国土を活かした太陽光発電と風力発電が普及した結果、水力発電の割合は10%未満にまで低下している | 2. 総発電量の過半数を水力発電が占めており、主要国の中でも再生可能エネルギーの利用比率が極めて高い構造となっている | 3. かつては水力発電が主流であったが、近年は急激な経済発展に伴い、石炭を利用した火力発電が発電量の8割を超えている | 4. 原子力発電をエネルギー政策の主軸に置いており、フランスと並んで世界最高水準の原子力依存度を示している |
|---|--|--|---|

問8 ブラジル、アメリカ合衆国、アルゼンチンの3か国に共通する農業・畜産業の特徴として正しいものはどれか。統計上、これらの国々は特定の品目で世界シェアの上位を占めている。
(2024年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 広大な国土を活かした大規模な経営が行われ、牛肉の生産において世界的に重要な地位を占めている。 | 2. いずれの国もサトウキビが最大の生産品目であり、世界生産の過半数をこの3か国で占めている。 | 3. アジア諸国と比較して労働力が豊富なため、すべて人力に頼った労働集約的な稲作が行われている。 | 4. 農産物のほとんどを自国内で消費しており、他国への輸出はほとんど行われていない。 |
|---|---|--|--|

問9 南アメリカ大陸の西側にそびえるアンデス山脈の断面的な特徴に関連して、この地域の住民の生活様式を説明したものとして適切なものはどれですか。
(2022年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 険しい地形を活かして、大陸を東西に結ぶ大規模な鉄道網が発達しており、山脈を越えた貿易が経済の中心となっている。 | 2. 標高が高くなるにつれて気温が下がるため、高地ではジャガイモなどの栽培やリャマ、アルパカの放牧が行われている。 | 3. 山脈の断面形状が平坦であるため、大規模な機械を導入した小麦の企業的穀物農業が山岳地帯のいたるところで展開されている。 | 4. 標高が高い地域ほど温暖になるため、山頂付近ではコーヒーやサトウキビの栽培が盛んに行われている。 |
|--|---|---|--|

問10 ブラジルでは、1970年代に発生した世界的な石油危機をきっかけに、さとうきびを原料とするバイオ燃料の活用が進みました。また、2000年代以降はある国の急速な経済発展に伴い、家畜の飼料となる大豆や肉類の需要が大幅に増加しました。この「ある国」の名称と、これらの農畜産物を増産するために農地を拡大した結果、現在ブラジルで深刻な課題となっている環境問題を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。
(2020年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. 中国、工業化にともなう大気汚染 | 2. アメリカ、過放牧による砂漠化 | 3. インド、沿岸部の埋め立て | 4. 中国、熱帯林の開発 |
|--------------------|-------------------|-----------------|--------------|

問11 サトウキビやトウモロコシなどの植物資源を原料として製造される燃料で、ブラジルなどで自動車用燃料として広く普及しているものの名称として正しいものはどれですか。
(2019年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-----------|-------------|---------|
| 1. 石油 | 2. シェールガス | 3. バイオエタノール | 4. 天然ガス |
|-------|-----------|-------------|---------|

問12 南アメリカ州では、大豆やトウモロコシなどの特定の農作物を大量に生産し、輸出する農業が盛んです。このような農産物の生産シェアが世界的に高い背景にある、この地域の農業の特色と課題について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。
(2026年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 特定の先進国による植民地支配の名残から、現在ですべての農地でコーヒーのみを栽培するモノカルチャー政策が続けられている。 | 2. 広大な土地を利用して、機械化された大規模な農場で輸出向けの作物を栽培しているが、一方でアマゾンなどの森林破壊が問題となっている。 | 3. 灌漑施設の整備によって砂漠地帯を農地へと変え、カカオ豆のモノカルチャー経済から脱却して、食料自給率を飛躍的に向上させた。 | 4. 家族中心の小規模な農家が、主食用として小麦を生産する自給的な農業が中心であり、環境負荷は極めて低い。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 低緯度の熱帯地域であっても、高い標高の影響で年中涼しい気候となっている。	高山都市はアンデス山脈などの標高の高い場所に位置しています。低緯度地域（赤道付近）は本来であれば酷暑となりますが、標高が高いことで気温が下がり、人間が居住するのに適した涼しい環境が生まれます。このため、古くからインカ帝国などの文明が発展し、現在も多くの人々が生活を営んでいます。
問2	答え 2 ブラジル	約852万km ² という面積は世界第5位の広さであり、南アメリカ大陸のブラジルに該当します。ブラジルは鉄鉱石の主要な産出地として知られ、世界全体の約3分の1という極めて高い生産割合を占めています。ロシアは面積が約1700万km ² とさらに大きく、インドは約329万km ² とブラジルに比べて面積が小さいため、これらの数値データはブラジルの国力を象徴するものといえます。
問3	答え 3 白豪主義と多文化社会	オーストラリアはイギリスの植民地であった歴史的背景から、長らく白人以外の移民を制限する「白豪主義」を国策としてきました。しかし、1970年代以降はこれを撤廃し、異なる文化背景を持つ人々が互いの権利や伝統を尊重し合う「多文化社会」へと転換しました。選択肢にある「人種隔離政策（アパルトヘイト）」は南アフリカ共和国で行われていた政策です。
問4	答え 3 牛や羊の牧畜	アルゼンチンの中東部に広がるパンパは、広大な温帯草原です。この地域では肥沃な土壌と平坦な地形を活かし、人口を上回るほどの規模で牛の放牧が行われているほか、南部では羊の飼育も盛んです。かつては皮革の利用が中心でしたが、冷凍船の開発により牛肉の輸出が飛躍的に伸び、国家の経済を支える重要な産業となりました。
問5	答え 2 広大な土地に大型の農業機械を導入することで、大規模な生産体制を確立したため	ブラジルの大豆生産は、広大な国土と機械化された大規模農場（ファゼンダなど）が組み合わさることで急速に発展しました。これにより、手作業や小規模経営では不可能な低コストでの大量生産が実現し、アメリカ合衆国と並ぶ世界最大級の大豆供給国となりました。
問6	答え 3 原料となる植物が成長する際に光合成で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に排出される量と実質的に相殺されるから。	植物を原料とするバイオ燃料は、燃やすことで二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素はもともと植物が成長過程で大気中から取り込んだものです。このように、ライフサイクル全体で見たときに大気中の二酸化炭素量を増やさないという考え方を「カーボンニュートラル」と呼び、地球温暖化対策として重視されています。ブラジルはこの分野で世界をリードする国の一つです。
問7	答え 2 総発電量の過半数を水力発電が占めており、主要国の中でも再生可能エネルギーの利用比率が極めて高い構造となっている	ブラジルの発電構成の最大の特徴は、再生可能エネルギーである水力の割合が突出して高いことです。2019年時点の統計でも全体の約6〜7割を水力が占めています。これは、二酸化炭素の排出量削減という国際的な課題に対しても有利な構造ですが、一方で干ばつが発生すると電力不足に陥りやすいという課題も抱えています。他の選択肢にあるような火力や原子力、新しい再生可能エネルギーへの完全な移行は、ブラジルの現状とは一致しません。
問8	答え 1 広大な国土を活かした大規模な経営が行われ、牛肉の生産において世界的に重要な地位を占めている。	ブラジル、アメリカ合衆国、アルゼンチンの3か国は、いずれも広大な平原や牧草地を有しており、機械化された大規模な農業・畜産業を展開しています。特に牛肉の生産では、アメリカが世界1位（18.2%）であるほか、ブラジルやアルゼンチンも世界的に高いシェアを持っており、これら南北アメリカ大陸の国々は「世界の食糧庫」としての役割を果たしています。
問9	答え 2 標高が高くなるにつれて気温が下がるため、高地ではジャガイモなどの栽培やリヤマ、アルパカの放牧が行われている。	アンデス山脈は標高が非常に高く、高度が上がるにつれて気温が下がる垂直的な気候の変化が見られます。住民はこの環境に適応し、低地では熱帯の作物を、高地では寒冷な気候に強いジャガイモの栽培や、家畜としてリヤマやアルパカを飼育するなど、標高に応じた多様な生活を営んでいます。また、低地よりも過ごしやすい標高2,000m〜3,000m付近に都市（例：ラパスやキト）が形成されることも特徴です。
問10	答え 4 中国、熱帯林の開発	ブラジルは1970年代の石油危機（オイルショック）を機に、石油の代替エネルギーとしてさとうきびから作るバイオエタノールの普及を進めました。さらに2000年代に入ると、中国の目覚ましい経済発展によって人々の食生活が変化し、家畜の飼料となる大豆や牛肉・鶏肉の需要が急増しました。これらの需要に応えるために農地や放牧地を拡大させた結果、アマゾン川流域などの熱帯林が大規模に伐採・開発され、生態系の破壊や地球温暖化への影響が世界的な問題となっています。
問11	答え 3 バイオエタノール	植物資源（バイオマス）を原料とした燃料はバイオ燃料と呼ばれ、その代表的なものがバイオエタノールです。サトウキビの生産が世界的に盛んなブラジルでは、1970年代の石油危機をきっかけに、石油への依存を減らすためにサトウキビを活用した燃料開発が進められました。現在では多くの自動車でガソリンに混ぜたり、あるいはそのまま燃料として利用したりすることが一般的になっています。
問12	答え 2 広大な土地を利用して、機械化された大規模な農場で輸出向けの作物を栽培しているが、一方でアマゾンなどの森林破壊が問題となっている。	ブラジルを中心とする南アメリカ州では、広大な土地に機械を導入した大規模農業が行われており、大豆などの輸出用作物の生産シェアが高まっています。しかし、その農地を確保するためにアマゾン川流域の熱帯雨林が伐採されるなど、深刻な環境問題を引き起こしている側面も理解しておく必要があります。